

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



【主催】

BEYOND 2020 NEXT FORUM 実行委員会 / 二十一世紀倶楽部 /
株式会社産業経済新聞社 / 株式会社ヘッドライン /
株式会社フロンティアインターナショナル / 株式会社オレンジ・アンド・パートナーズ

【後援】

内閣府 (beyond2020 プログラム認証事業) / 外務省 / 東京都

【協賛】

株式会社フォーシーズ / 株式会社ロイヤリティ マーケティング /
株式会社スノーピーク / 株式会社オープンハウス / 株式会社 JPF /
デロイト トーマツ コンサルティング 合同会社

【協力】



早稲田大学グローバル科学知融合研究所 / Beyond 2020 Next Project



第2回こども未来国連会議

【日時】2022年3月26日（土）13:30～18:00【会場】SMALL WORLDS 3F WORLD LAB（東京都江東区有明1-3-33 有明物流センター）
【注意事項】当日の写真及び動画はニュースなどで紹介されます。写真や動画での撮影を希望されない方はスタッフにお伝えください。

プログラム

| | | |
|--------|--|-------------------|
| 13:30～ | 開会セレモニー | ボードメンバー 堀潤 |
| 13:50～ | 第1部『SDGsの紹介、ジェンダーについて』グループ自己紹介 | |
| 14:25～ | 第2部『SMALL WORLDSのミニチュアを見て、「ジェンダーバイアスを発見」グループワーク、SMALL WORLDS TOKYO 館内を探索など | |
| 15:30～ | 第3部『発表』各グループごとに考えを発表 | |
| 16:15～ | 閉会セレモニー | |
| 16:40～ | MIYAVIさんによる楽器のワークショップ・音楽セッション | ボードメンバー MIYAVI |
| 17:40 | 終了予定 | |

※プログラム内容、及び時間は変更となる場合場あります事ご了承ください。当日の状況により、最終終了時間が18:00に延長される場合がございます。

【注意事項】新型コロナウイルス対策として、本イベントへのご参加につきまして下記を必ずお読みください。
・会場には必ずマスク着用の上ご来場ください。・受付にて検温及びアルコール消毒を行っていただきます。
・当日会場にて問診票のご記入をお願いします。
＜右記の方はご入場いただけません＞・37.5度以上の熱がある方・せき・だるさがある方・濃厚接触者の方

林芳正 外務大臣



本日「第2回こども未来国連会議」が開催されることをお慶び申し上げます。また、イベントの実現に向けた関係者の皆様の御尽力に心から敬意を表します。私たちは今、新型コロナや気候変動など、国境を越えた地球規模の課題に直面しています。そのような中、ロシアがウクライナを侵略しました。日本は、ロシアを厳しく非難し、軍を引き上げよう求めています。平和で豊かな世界を守るため、今、日本を始め、各国の政府や市民がウクライナと共に取組を進めています。このような国際社会の連帯はSDGsなど地球規模の課題を解決するためにも欠かせません。本日参加する皆さんには、未来のために人類としてどうすべきか、そういう視点で取り組んでいただければと思います。それこそが、国連憲章が掲げる「We the peoples」の精神だと思います。

皆さん一人ひとりのこれからの活躍に期待しています。

根本かおる 国連広報センター所長



今日はSDGs「持続可能な開発目標」の達成のために、世界のいろいろな国の子供たちが集まって、自分たちに何ができるのかを議論する場だと聞いています。たくさんのアイデアが出ることを私も楽しみにしています。

さて、世界を揺るがした新型コロナウイルス感染症が世界で大流行し始めてからこの3月で3年目に入りました。皆さんの暮らしにも大きな影響があったことと思います。さらに、世界の平均気温がどんどん上がり、力をあわせて地球を守っていくことがこれまで以上に大切になっています。そんな中で、ヨーロッパのウクライナで戦争が起き、皆さんのような子どもたちが巻き添えになっています。多くの方々が命を落とし、そして故郷を追われ避難しています。皆さんもニュースをご覧になって胸を痛めていらっしゃることでしょ。自分に何ができるのか、考えていらっしゃることでしょ。争いことは武器ではなくて、話し合いで解決する。これは世界のルールです。

そして、SDGs「持続可能な開発目標」にとっても、平和があって初めて、ゆたかな世界があります。今日はジェンダー平等について皆さんが議論されると聞いています。戦争や気候危機で住む場所を追われ、学校に行けなくなり、仕事を失うなどの影響は、女の子や女性のほうが受けやすいということを知っておください。また、平和について話し合う交渉の場に、女性が加わるということも非常に重要です。異なる意見に耳を傾けることや思いやりがこれまで以上に大切になっています。きょうの会議がそうした姿勢を学び合う機会になることを心からお祈りして、私からの挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

パトリシア・フロア 駐日欧州連合特命全権大使



本年もこの特別なイベント、「こども未来国連会議」にメッセージを寄せることができ嬉しく思います。私たちは、国籍や人種、性別に関係なく、誰もが持続可能で幸せな暮らしを送り続けられるよう、「持続可能な開発目標（SDGs）」を達成する必要があります。皆さんはSDGsについてご存じでしょうが、その目標は皆さんにとって大きなプロジェクトに聞こえるかもしれません。しかし、このように考えてみましょう。皆さんは、大人になった時、どのような社会で生きていきたいですか。きれいな空気を吸い、青く透んだ海で泳ぎ、健康的な食事をしていきたいですか。第2回こども未来国連会議のメインテーマは「ジェンダー平等」と聞いています。アフガニスタンでは、目下、多くの少女が学校に行けなくなっています。しかし、誰にでも、性別にかかわらず、平等に自分の持てる能力を発揮できる社会で生きるために、教育を受ける権利があります。勇気を持って、あなたの、そしてすべての子どもたちの権利が尊重されるよう訴えてください。本日の会議に参加する世界中の子どもたちには、学び、議論したことを家族や友達と共有してほしいと思います。次世代のリーダーとして、SDGsの達成に向かう一歩を踏み出してください。

ラシャッド・ブフラル 駐日モロッコ王国特命全権大使



「こども未来国連会議・SDGsピースコミュニケーションプロジェクト」は、世界中から来た子供たちが話し合い、お互いを知ることができる素晴らしい取り組みです。このイベントを年次開催にした主催者の方々のご尽力に敬意を表しますと共に、2年続けてメッセージを送ることを嬉しく思います。

今年のメインテーマ、SDGsの5「ジェンダー平等の実現」は、誰もが共有し、認識すべき重要な課題です。モロッコでは国王陛下モハメッド六世のリーダーシップの下、ジェンダーの平等は基本的人権であり、法的義務であり、社会的および経済的要件であるという信念に基づいて、ジェンダー平等の推進を積極的な戦略と位置づけています。

世界中の子供たちには、一生懸命勉強して、やりたいことを追求し、他者のために何ができるかを考えていくことを奨励します。

親愛なる少年少女の皆様、お互いに協力しあい、誰もが充実した人生を送ることができる明るい未来を築いてくれることを願っています。

ピーター・タン・ハイ・チュアン 駐日シンガポール共和国特命全権大使



シンガポールは持続可能な開発のための2030アジェンダを支持します。

SDG 4は、すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会の促進を目的としています。シンガポールの教育理念は、国の富は人にあるという信条に基づいています。教育の一環として、若者が必要なスキルを身につけ、市民意識や、社会的責任の価値を大切にし、グローバル化する世界に積極的に貢献できるようにすることです。

今年のイベントのテーマであるジェンダー平等はとても重要です。このイベントを通して、子供たちがこのトピックについて前向きに考えてくれるようになってほしいと思います。

子供たちは私たちの未来です。より良い未来をつくるため、子供たちとともに始めましょう。

国会議員サポーターズクラブリーダー 加藤勝信 衆議院議員

こども未来
国連会議
サポーターズクラブ



2030年、皆さんが大人になっている時代です。世界の同世代の人たちとコミュニケーションの場を持って、どんな時代にしていくのかをそれぞれの国の友だちと考えてみてください。

未来を具体的に想像してみてください。そして、その夢を実現するという強い意思を持って、ひとつひとつ課題解決に取り組んで下さい。きっと明るい未来が切り拓かれていくと思います。私達大人も、そんな皆さんを応援していきます。チカラになれるように頑張ります。

<サポーターメンバー>



井上信治
(衆議院議員、前国際博覧会担当大臣)



中山泰秀
(幹事 前防衛大臣兼前内閣府副大臣)



鈴木隼人
(衆議院議員)



若宮健嗣
(衆議院議員、内閣府特命担当大臣、国際博覧会担当大臣)

河原一貴 外務省国際協力局地球規模課題総括課長



私たちは今、新型コロナウイルス感染症や気候変動など、国境を越えた地球規模の課題に直面しています。平和で豊かな世界を守るためには、政府だけではなく、こどもから大人まで、様々な人々が協力し、さらに、国を超えて一緒に取組を進めなければなりません。一人一人の毎日の小さな行動が大切な一歩となります。将来、どう世界で暮らしたいか、そのためには今何をすべきか。SDGsはそういったことを考え、行動するための羅針盤（らしんばん）です。常日頃からSDGsを意識するようにしてみてください。皆さん一人ひとりのこれからの取組に期待しています。